

喜界町

図書館だより

3月号



【通算 第285号】

2020（令和2）年3月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート
図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。

★（受け取りは0歳児のみ。ブックスタートの文書が届いたのち、図書館にご来館ください。）

忙しい時こそ読書に親しむ！

1月に行く、2月は逃げる、3月は去るとよく言われますが、新年を迎えたばかりだと思ったら早くも今年度最後の月となりました。春を待つ草木が芽を出し虫たちが巣から這い出してくる3月何かと忙しく体調を崩しやすい時期でもあります。こんな時は、心にゆとりを持ちたいですね。“忙中閑あり”忙しい中にも時間を見つけ、時には図書館でゆったりと本など読んでみてはいかがでしょうか。

また、3月・4月は、引っ越しが多いシーズンです。新年度に向けて大掃除や模様替えなどをする機会も多くなります。こうした引っ越し作業や大掃除、模様替えの際に、返却し忘れていた図書館の本が出てくることもよくある話です。その際は、図書館までご返却をお願いいたします。借りている本の冊数やタイトルなどご不明な点がありましたら、図書館へ直接お問い合わせください。



「速読」と「遅読」

近年、脳の活性化や学力アップ等のために、本を速く読む「速読」が推奨されています。この「速読」から派生した言葉で、本をじっくり時間をかけて読む「遅読」という言葉があります。

この「遅読」について、芥川賞作家の平野啓一郎氏は著書「本の読み方」の中で、「小説家が本を読むのが遅い理由は明かだ。それは、彼らが考えながら読むからである。重要な一節に出くわす度に、本を置いて考える。ときにはそのまま、読書を中断して、翌朝までずっとものを考えていることもある。言うまでもなく、この「考える」という行為こそが、読書にとっては最も重要なことである。すなわち、『遅読（チドク）』とは『知読（チドク）』だと言えよう」と述べています。

短時間で多くの本が読める「速読」と、ゆっくりでも深く本が読める「遅読」。本の読み方としてどちらが優れて

おしらせ



本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。興味のある方は、図書館へ連絡ください。

蔵書点検作業が終了しました。

1月28日（火）から2月6日（木）までの蔵書点検作業では、利用者の皆様には大変不自由をおかけいたしました。おかげさまで、滞りなく点検作業を終えることができました。

喜界町図書館では、今後とも町民の皆様が利用しやすい図書館、町民の皆様の要望にお応えする図書館をめざして、職員一同頑張っており、ご利用の程よろしく願いいたします。



第162回 芥川賞・直木賞

芥川賞「背高泡立草」（著）古川真人
直木賞「熱源」（著）川越宗一

「第12回MOE絵本屋さん大賞」決

大賞「なまえのないねこ」

文 竹下文子 絵 町田尚子

2位「ころべばいいのに」 作 ヨシタケシンスケ

3位「たべものやさん しりとりしたいかい かいさいします」 作 シゲタサヤカ

4位「それしか ないわけ ないでしょう」 作 ヨシタケシンスケ

5位「へいわとせんそう」 文 たにかわしゅんたろう 絵 Noritake

6位「みずとは なんじゃ？」 作 かこさとし 絵 鈴木まもる

7位「Michi」 作 junaida

8位「ねえさんといもうと」 文 シャロット・グロウ 絵・訳 酒井駒子

9位「ねこのずかん」 作 大森裕子 監修 今泉忠明